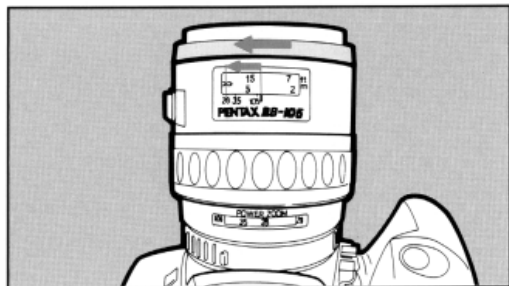


3) 赤外線指標について



赤外線フィルムと「R2」や「O2」フィルターを使用して赤外線写真を撮影するときは、一般撮影（可視光線）とピント位置が異なってくるため、ピントの補正が必要になります。オートフォーカスでは赤外線写真のピント補正ができません。一度普通にピント合わせをしてから、フォーカスモードレバーを**MANUAL**にし、距離リングを赤外線指標の分だけ左に回して補正します。

図のように、焦点距離目盛りが28のときは、距離目盛りを28の赤外線指標（赤線）までずらします。

* 赤外線写真を撮影するときの露出は、フィルムの説明書を参考にしてください。自動露出では適正露出が得られませんから、マニュアル露出で撮影します。

写真の豆知識

V その他について

1) 電池について



- *カメラ用の電池はリチウムの[2CR5]、データバック用にはリチウムのコイン型電池[CR2025]を使用します。
- *電池は正しく使いましょう。誤った使い方は液もれ・発熱・破損の原因となります。電池の＋を間違えないようご注意ください。
- *電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。治療方法についてのお問い合わせ先。
筑波中毒110番：0298(52)9999 24時間体制
大阪中毒110番：06(451)9999 24時間体制
- *電池をショートさせたり、分解や充電をしたり、火の中に入ると破裂・発火の恐れがありますので絶対にしないでください。
- *海外旅行や寒冷地での撮影や写真をたくさん撮る予定のときなどは、予備電池を用意しておくとう安心です。

- *低温では、一時的に電池の性能が低下して容量（能力）不足になることがあります。常温に戻れば使用できます。
- *カメラバックなどに入れるとき、シャッターボタンが押されると電池が消耗します。電源スイッチを切っておくと安全です。
- *内蔵ストロボを連続して使うと、カメラ用の電池が多少温くなる場合がありますが、これは電池の特性で異常ではありません。

撮影可能フィルム本数およびバルブ時間

一般撮影	約80本
ストロボ撮影（使用率50％）	約25本
ストロボ撮影（使用率100％）	約14本
バルブ露出時間	約6時間

新品のリチウム電池[2CR5]で、当社試験条件による。(24枚撮りフィルム、常温)

その他について

2) 取り扱い上の注意

カメラは精密機械です。取り扱いには充分ご注意ください。

- *落としたり、固いものにぶつけないようにしてください。もしも強いショックや圧力を与えた場合は点検を受けてください。
- *レンズやファインダー窓のホコリはブローで吹き飛ばし、きれいなレンズブラシで取り去ってください。
- *高温多湿の所へ保管したり、長時間放置することは避けてください。特に車の中は高温になることがありますのでご注意ください。
- *カメラの使用温度範囲は50℃～-10℃です。
- *寒い外から急に暖かい部屋へ持ち込むと、カメラの内外に水滴を生じます。このような環境では、カメラをバッグやビニール袋に入れて、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから、取り出してください。



- *カメラは、防虫剤入りのタンスや薬品を扱う実験室などを避け、風通しの良い所に保管してください。
- *汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- *ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入ると、故障の原因になりますからご注意ください。保証期間中でも有料修理になる場合があります。雨や水滴などが付いたときは、良く拭いて乾かしてください。
- *シャッター幕やミラーには、手を触れないでください。
- *カメラ内部には、高電圧部があります。危険ですから決して分解しないでください。



その他について

- * 一般に、電気系のトラブルは接点部の汚れやゴミが原因になる場合が多いものです。もし、電気系の不具合と思われる現象が出たときは、電池の接点や各部の接点に手油などの汚れ、塩分や特殊ガスなどによる腐食、あるいはゴミなどが付いていないかチェックしてみてください。
- * サービスサイズのカラープリントでは画面周辺でフィルムに写っていたものが切られてしまうことがあります。構図を決めるときに少し余裕を取っておくと安心です。
- * 水没品は修理不可能の場合が多くなります。当社のサービス窓口にご相談ください。
- * 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検をお勧めします。長期間使用しなかったときや、大切な撮影の前には、点検や試し撮りをされるようにしてください。
- * マクロレンズや望遠レンズを使用したときは、ファインダーの上部がミラー切れによって暗くなることがありますが、撮影した写真には影響ありません。

LCD（液晶）用バックアップ回路について
撮影途中のフィルムがカメラに入っているとき、電池交換のために電池を抜いても、撮影枚数とフィルム感度はカメラに記憶されています。

LCD（液晶）表示について

- * 約60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- * 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。

3) こんなときは?

修理を依頼される前にもう一度、次の点をお調べください

症状	原因	処置	参照ページ
シャッターが切れない	電源スイッチが入っていない	電源スイッチを入れてください	15ページ
	バッテリー警告  が点いている	電池を交換してください	10ページ
	電池が逆に入っている	電池を正しく入れてください	10ページ
	セルフタイマーになっている	セルフタイマーを解除してください	68ページ
	モードダイヤルが  になっている	モードダイヤルを他の位置に回してください	23ページ
表示パネルに表示がない	電源スイッチが入っていない	電源スイッチを入れてください	15ページ
	電池が入っていない	電池を入れてください	10ページ
	電池が逆に入っている	電池を正しく入れてください	10ページ
	電池が完全に消耗している	電池を交換してください	10ページ
ピントが合わない	ピントを合わせたい物（被写体）にAFフレーム  が合っていない	被写体をAFフレーム  に入れて撮影してください	30ページ
	被写体に近づきすぎている	被写体から離れてください	31ページ
	フォーカスモードレバーが MANUAL になっている	フォーカスモードレバーを SINGLE か SERVO にしてください	30ページ
	オートフォーカスの苦手な被写体	フォーカスロックを使うか、マウント部のピント合わせを	32ページ 39ページ
ファインダー内の  が点滅する	撮影する距離が近すぎたり、オートフォーカスの苦手な被写体などのためピント合わせができない	フォーカスロックを使うか、マウント部分のピント合わせをご利用ください	32ページ 39ページ
内蔵ストロボが充電しない	電池が消耗している	電池を交換してください	10ページ
	フォーカスモードレバーが SERVO でシャッターボタンを押している	シャッターボタンから指を離してください	80ページ
マニュアル露出なのにシャッター速度が設定できない	マニュアル露出はバルブ専用です	ハイパーマニュアル露出にしてください	53ページ
フォーカスロックができない	フォーカスモードレバーが SERVO になっている	フォーカスモードレバーを SINGLE にする	32ページ
オートブラケットングにならない	露出モードがマニュアルかハイパーマニュアルになっている	露出モードをハイパープログラム、プログラム、絞り優先、シャッター優先のどれかにする	42ページ

症状	原因	処置	参照ページ
多重露出モードにならない。	電源スイッチが $\blacksquare$ になっている。	電源スイッチを $\blacksquare$ にする。	15ページ
インターバルモードにならない。	電源スイッチが $\blacksquare$ になっている。	電源スイッチを $\blacksquare$ にする。	15ページ
ドリブルセルフタイマーにならない。	電源スイッチが $\blacksquare$ になっている。	電源スイッチを $\blacksquare$ にする。	15ページ
2秒セルフタイマーにならない。	電源スイッチが $\blacksquare$ になっている。	電源スイッチを $\blacksquare$ にする。	15ページ
ハイパープログラム自動露出にならない。	電源スイッチが $\blacksquare$ になっている。	電源スイッチを $\blacksquare$ にする。	15ページ
シャッター優先自動露出にならない。	電源スイッチが $\blacksquare$ になっている。	電源スイッチを $\blacksquare$ にする。	15ページ
マニュアル露出[バルブ]にならない。	電源スイッチが $\blacksquare$ になっている。	電源スイッチを $\blacksquare$ にする。	15ページ
	ドライブモードが1コマ・連続・多重露出以外になっている。	ドライブモードを1コマ・連続または多重露出にしてください。	59ページ
露出補正がセットできない。	電源スイッチが $\blacksquare$ になっている。	電源スイッチを $\blacksquare$ にする。	15ページ
ズームクリップモードにセットできない。	レンズがマニュアルズームになっている。	レンズのズームリングを前面に出して[POWER ZOOM]にする。	71ページ
	レンズのオートズームスイッチが P になっている。	レンズのオートズームスイッチを A にする。	71ページ
イメージサイズ指定モードにセットできない	カメラ側のフォーカスモードレバーが MANUAL になっている。	カメラ側のフォーカスモードレバーを SINGLE か SERVO にする。	74ページ
	レンズがマニュアルズームになっている。	レンズのズームリングを前面に出して[POWER ZOOM]にする。	71ページ
	レンズのオートズームスイッチが P になっている。	レンズのオートズームスイッチを A にする。	71ページ
パワーズームが動かない。	レンズがマニュアルズームになっている。	レンズのズームリングを前面に出して[POWER ZOOM]にする。	27ページ
撮影のときズームが勝手に作動する。	イメージサイズ指定モードになっている。	イメージサイズ指定モードを解除する。	74ページ
露光間ズームにセットできない。	レンズがマニュアルズームになっている。	レンズのズームリングを前面に出して[POWER ZOOM]にする。	71ページ
露光間ズームが作動しない。	焦点距離が最も長い側[数字の大きい方]になっている。	焦点距離を短い側[数字の小さい方]にする。	78ページ

4) 主な仕様

型式	TTLストロボ内蔵 TTL AE・AF35mm一眼レフカメラ
画面サイズ	24×36mm
使用フィルム	35mmフィルム(J 135バネ入り)35mmDXフィルム=ISO25~5000 DXでないフィルムはISO6~6400
露出モード	ハイパープログラム自動露出、プログラム自動露出、シャッター優先自動露出、絞り優先自動露出、ハイパーマニュアル露出、マニュアル露出(バルブ)
シャッター	電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター オートシャッター=1/8000秒~30秒(無段階)、マニュアルシャッター=1/8000秒~30秒、バルブ、電磁リリース、電源スイッチ切りでシャッターロック
レンズマウント	ペンタックスSマウントK _{AF} マウント(AFカブラー、レンズ情報接点、パワーズーム用電源ピン付きKマウント)
使用レンズ	K _{AF} 、K _{AF} マウントレンズ K _A 、Kマウントレンズ(AFアダプター使用でAF可能)
オートフォーカス機構	TTL位相差検出式、オートフォーカス作動距離範囲E ν 1~18(ISO100)(F1.4レンズ付き)、フォーカスロック可能、フォーカスモード= SINGLE 、 SERVO (動体予測可)、 MANUAL 、AFスポットビーム有
パワーズーム	F ν Aズームレンズとの組み合わせにより、3連パワーズーム・イメージサイズ指定・ズームクリップ・露光間ズームが使用可能
ファインダー	ペンタプリズムファインダー、交換式アスフェリックマクロマウントフォーカシングスクリーン、視野率92%、倍率0.8倍(50mm ∞)、視度調節式 -2.5+1.5D
ファインダー内表示	フォーカス表示(FI=フォーカスインジケーション) $\odot$ 合焦表示(緑ランプ表示) 前ピン・後ピンおよび合焦不能表示(緑ランプ点滅)、シャッター速度表示、絞り表示、 M 点灯=外付けストロボ充電完了表示、 M 点灯=内蔵ストロボ充電完了表示 M 点滅=ストロボお勤めまたは不適切レンズ警告表示、 M =ハイパーマニュアル時の露出オーバー表示、 M =ハイパーマニュアル時の露出アンダー表示、 M =ハイパーマニュアル時の適正露出表示、 M =露出補正表示、 M =メモリーロック表示、 M =スポット測光、中央重点測光表示
LCDパネル表示	HyP =ハイパープログラム自動露出表示、 P =プログラム自動露出表示、 A =シャッター優先自動露出、絞り優先自動露出表示、 HyM =ハイパーマニュアル露出表示、 M =マニュアル露出(バルブ)表示、 M =イメージサイズ指定表示、 M =ズームクリップ表示、 M =露光間ズーム表示、シャッター速度=8000~30s b 表示、絞りF値=1.2~9.0、ISO=6~6400、バルブタイマー=1~59S 1m~59m 1h~24h、露出補正時のインジケータ表示、露出補正=-4~+4、 M =バネローネ・フィルム走行・巻き取りマーク、 M =電池消耗表示、フィルムカウンター=0~99、 M =内蔵ストロボ充電完了表示、 M 点滅=ストロボ充電完了 ストロボお勤め表示、ストロボ充電完了 不適切レンズ警告表示、 M =スポット測光・中央重点測光表示、 S T =インターバル時のスタート表示 INT =インターバル表示、インターバルスタート時間およびインターバル時間=1S~9S 10S~20S~50S 1m~9m 10m~20m~50m 1h~24h インターバル枚数=1~36 M =ペンタックスファンクション表示、 M =合焦時・セルフタイマー時のブザー表示、 M =セルフタイマー表示、 M 2S=2秒セルフタイマー表示、 M =トリプルセルフタイマー表示、 M =オートブラケットング表示、 M =T ν ダイレクトダイヤル表示、 M =A ν ダイレクトダイヤル表示、 T ν =T ν 表示、 A ν =A ν 表示、LCD照明あり(約5秒間照明)、 M =多重露出表示

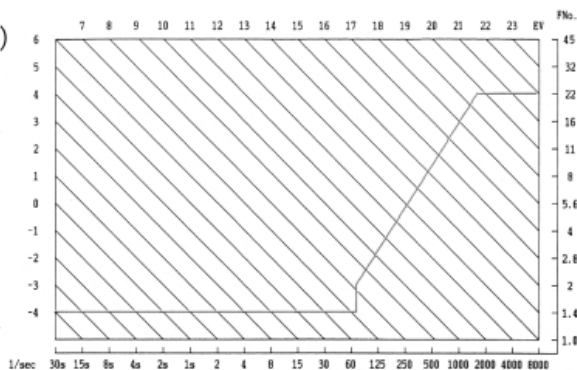
セルフタイマー	電子制御式、始動はシャッターボタン、作動時間12秒(赤ランプ点滅、音、減算表示)、作動後解除可能、2秒セルフタイマー可能、トリプルセルフタイマー可能
ミラー	クイックリターンミラー、オートフォーカス用第2ミラー付
フィルム入れ	オートローディング、裏ぶた閉じにより1枚目まで自動巻き上げ、裏ぶたにフィルム情報窓付
巻き上げ・巻き戻し	内蔵モーターによる自動巻き上げ・巻き戻し式、1コマ撮影・連続撮影(約3コマ/秒)、フィルム終了時自動巻き戻し、フィルム走行・巻き戻し完了をLCD表示
露出計・測光範囲	TTL開放8分割測光、測光範囲 50mm F1.4 ISO100 EV 0~20、スポット測光可
露出補正	±4 EV (0.3 EVごと設定可能)
オートブラケットング	適正・アンダー・オーバーの3コマ連続段階露出が可能(±0.3 EV~±4 EVの範囲) 露出補正併用可
メモリーロック	ボタン式(タイマー式5秒) シャッターボタン半押しで継続
ストロボ	並列制御 TTLストロボ内蔵、ガイドナンバー14 (ISO100/m) 35mmレンズをカバー、同調速度 1/250秒~1/15秒へ自動切り替え、日中シンクロ 低速シンクロ 光量比制御可能、ISO 連動範囲=25~400
シンクロ	ホットシュー(X接点専用ストロボ接点付き) 専用ストロボ連動、ISO 連動範囲=25~800
電源	6 Vリチウムバック電池 2CR5 1個
電池消耗警告	バッテリーマーク  点灯(点滅時シャッターロック、ファインダー内表示は消灯)
PF	ペンタックスファンクション18項目設定可能
裏ぶた	交換可能
大きさ・質量(重さ)	152.0mm(幅)×95.5mm(高)×74.0mm(厚) 650g(ボディのみ 電池別)
付属品	ホットシューカバーF ₀ 、レリーズソケットキャップF ₀ 、カメラストラップF ₀ 、アイカップF ₀ 、ファインダーキャップ

クォーツデイト仕様

デイト機構	クォーツ制御、液晶表示式、デジタル時計、オートカレンダー(西暦2019年まで、閏年は自動修正)
データの写し込み方法	7セグメント6桁LCD、フィルム背面より写し込み
データ表示	データ表示窓にLCD表示、表示写し込み時  が2~3秒間点滅
データの種類	①年・月・日、②日・時・分、③  (データ写し込み無し)、④月・日・年、⑤日・月・年 年=87~19(1987~2019年)、月=1~12、日=1~31、時=0~23、分=00~59
使用フィルム感度	ISO25~1600(感度自動セット)
デイト電源	CR2025(リチウム電池)
発光回数	約5000回

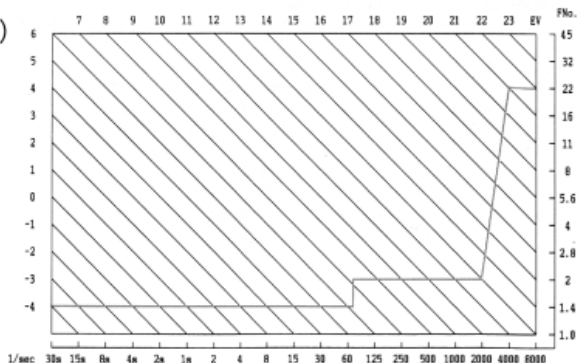
プログラム線図(ノーマルプログラム)

ISO100 50mmF1.4の場合



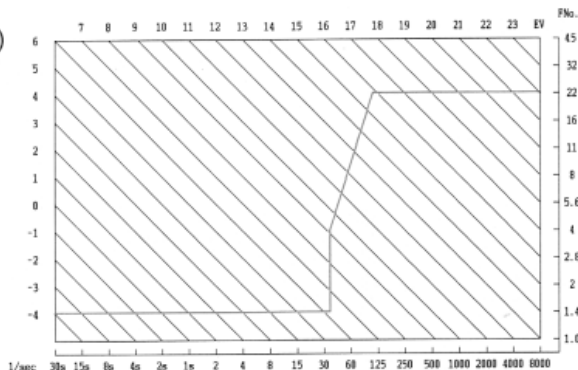
プログラム線図(高速優先プログラム)

ISO100 50mmF1.4の場合



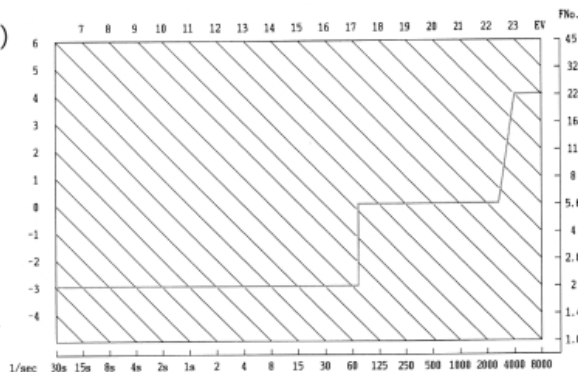
プログラム線図(深度優先プログラム)

ISO100 50mmF1.4の場合——



プログラム線図(MTF優先プログラム)

ISO100 50mmF1.4の場合——



お問い合わせは次の各サービス窓口へ

■営業時間：●ペンタックスフォーラム(新宿)

午前10時30分～午後6時30分
(原則として年末年始を除き年中無休)

●ペンタックスフォーラム・大阪

午前10時～午後6時(日・祝日休業)

●各サービスセンター

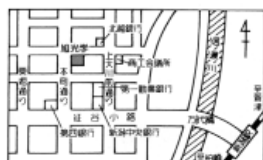
ペンタックスファミリー

午前9時～午後5時(土・日・祝日休業)



仙台サービスセンター

☎022(261)5681℥
〒980
仙台市青葉区中央2丁目2番10号
仙都会館4階



新潟サービスセンター

☎025(224)8391℥
〒951
新潟市本町通七番町1153番地
新潟本町通ビル



横浜サービスセンター

☎045(681)8771℥
〒231
横浜市中区不老町1丁目6番9号
横浜エクセレントVビル3階



静岡サービスセンター

☎054(255)6308℥
〒420
静岡市伝馬町24番2号
住友建設ビル5階



ペンタックスフォーラム

(シヨールーム・写真展・修理受付)
☎03(3348)2941℥
〒163-04
東京都新宿区西新宿2丁目1番1号
新宿三井ビル1階(私書箱240号)



東京サービスセンター

☎03(3571)5621℥
〒104
東京都中央区銀座西8丁目10番地
(土橋交差点交番並び)



札幌サービスセンター

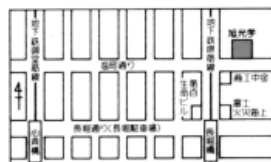
☎011(812)3231℥
〒060
札幌市中央区
北10条西18丁目36番地
ペンタックス札幌ビル



名古屋サービスセンター
 ☎052(962)5331℥
 〒461
 名古屋市中区栄1丁目19番8号



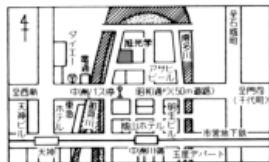
金沢サービスセンター
 ☎0762(22)0501℥
 〒920
 金沢市尾張町2丁目8番23号
 太田生命ビル6階



大阪サービスセンター
 ☎06(271)7996℥ (修理受付)
 〒542
 大阪市中央区南船場1丁目17番9号
 ペンタックスフォーラム・大阪
 (ショールーム・写真展)
 ☎06(271)3960



広島サービスセンター
 ☎082(248)4321℥
 〒730
 広島市中区大手町3丁目7番2号
 大東京火災広島ビル8階



福岡サービスセンター
 ☎092(281)6868℥
 〒810
 福岡市博多区中洲中島町3番8号



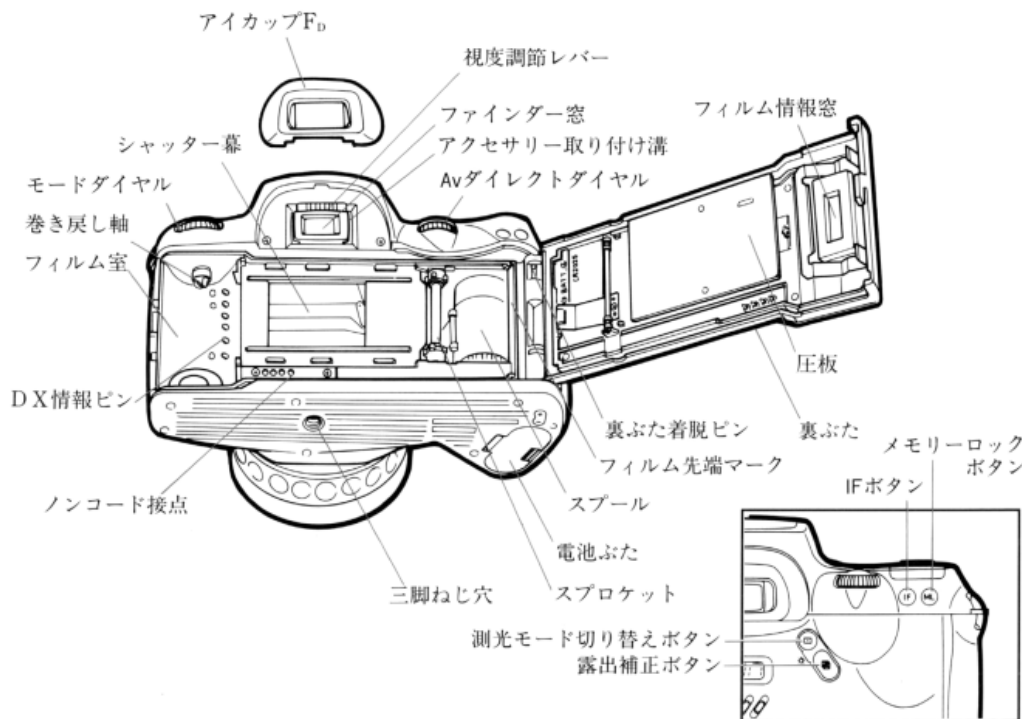
お客様相談室
 ☎03(3572)6479
 〒104
 東京都中央区銀座西8丁目10番地
 (土橋交差点交番並り)



ペンタックスファミリー(写真クラブ)
 ☎03(3401)2187
 〒106
 東京都港区西麻布3丁目24番20号
 交通安全教育センター3階

ペンタックスファミリーのご案内
 ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の写真クラブです。年4回の会報と写真年鑑の配布、イベントへの参加や修理料金の会員割引など様々な特典があります。
 お申し込み・お問い合わせは上記ペンタックスファミリー事務局まで。

各部の名称②



アフターサービスについて

●旭光学のサービス窓口では、ペンタックスカメラをはじめ、各種交換レンズやアクセサリが展示され、手にとってご覧になれます。また、種々のご相談にも応じておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

●他社製品(レンズ、アクセサリ等)との組み合わせ使用に起因する故障については有料となります。

1. 修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口へ直接お持ちください。郵送の場合は、カメラの化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかり包装し、書留小包便でお送りください。なお、不良見本のフィルムやプリント、また、故障内容は正確にメモして添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中(ご購入後1年間)は保証書(販売店印、および購入年月日が記入されているもの)をご提示ください。保証書がないと、保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用は、お客様にご負担願います。

3. 保証期間以後の修理は原則として有料です。なお運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

4. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後、10年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても、修理可能な場合もありますから、当社の各サービス窓口にお問い合わせください。

5. 外国旅行をされる場合、各サービス窓口ではお手持ちの保証書と交換に、国際保証書を発行いたします。(保証期間中のみ有効)なお、特定の旅行先でのサービス窓口の住所については、お問い合わせください。

(12)



旭光学工業株式会社

〒174 東京都板橋区前野町2丁目36番9号

ペンタックス販売株式会社

〒100 東京都千代田区永田町1丁目11番1号